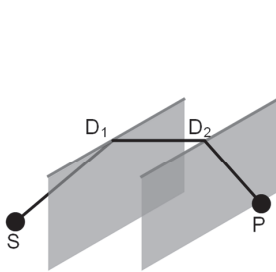
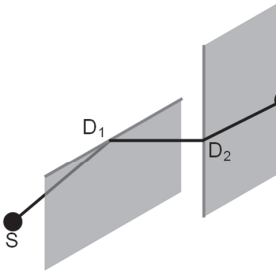
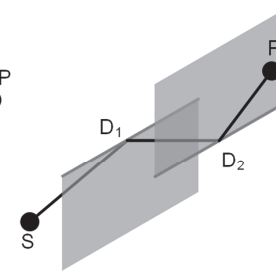
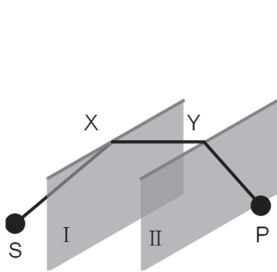
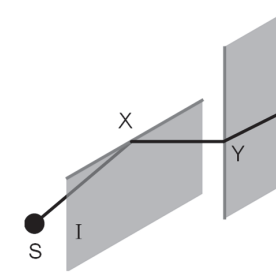
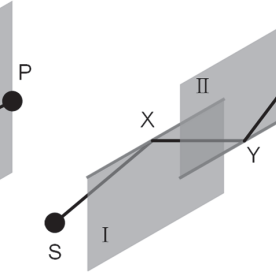
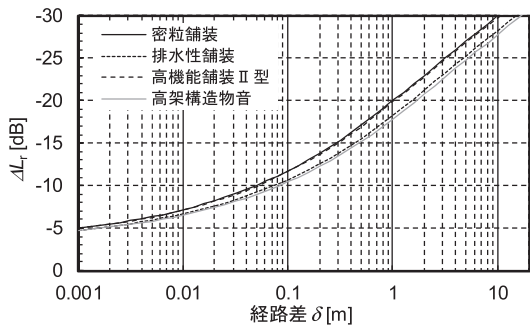
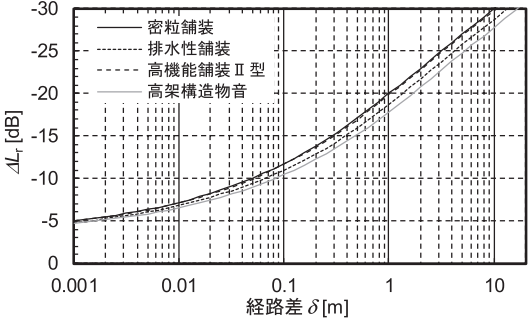


訂 正

本誌 75 巻 4 号「道路交通騒音の予測モデル“ASJ RTN-Model 2018”—日本音響学会道路交通騒音調査研究委員会報告—」において記述の誤りや分かりにくい箇所がありました。正しくは以下のとおりです。ここにお詫びし訂正いたします。なお、本誌 76 巻 3 号の会告に訂正を掲載しましたが、新たな訂正箇所がありましたので、その部分を追加して再掲いたします。今後、新たに訂正箇所があった場合には、道路交通騒音調査研究委員会の HP (<https://asj-rtn.acoustics.jp/>) に随時掲載いたしますので、併せてご覧下さい。

頁	訂正内容			
p. 190 文献 [1]	文献 [1] の題目を訂正。			
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center;">誤</td> <td>道路交通騒音調査研究委員会が果たしてきた役割と今後の課題</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">正</td> <td>道路交通騒音調査研究<u>委員会</u>が果たしてきた役割と今後の課題</td> </tr> </table>	誤	道路交通騒音調査研究委員会が果たしてきた役割と今後の課題	正
誤	道路交通騒音調査研究委員会が果たしてきた役割と今後の課題			
正	道路交通騒音調査研究 <u>委員会</u> が果たしてきた役割と今後の課題			
p. 192 右段 (5) の文章	上から 4 行目の文章を訂正。			
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center;">誤</td> <td>…を基準の<u>音圧の 2 乗</u>で除した…</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">正</td> <td>…を基準の<u>音響パワー</u>で除した…</td> </tr> </table>	誤	…を基準の <u>音圧の 2 乗</u> で除した…	正
誤	…を基準の <u>音圧の 2 乗</u> で除した…			
正	…を基準の <u>音響パワー</u> で除した…			
p. 202 図-3.2	<p>(a), (b) の計算チャートを訂正。図中の排水性舗装の点線が最大で 0.5 dB の差異。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(a) ナイフウェッジ ($\Delta L_{d,k}$)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(b) 直角ウェッジ ($\Delta L_{d,r}$)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(a) ナイフウェッジ ($\Delta L_{d,k}$)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(b) 直角ウェッジ ($\Delta L_{d,r}$)</p> </div> </div>			

頁	訂正内容
<p>p. 204 図-3.5</p>	<p>(a), (b), (c) の回折点 D1 を X に, D2 を Y に訂正。併せて, 音響障害物の左側に I を, 右側に II を追記。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(a) 通常二重回折</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(b) ねじれ二重回折</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(c) 逆二重回折</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(a) 通常二回回折</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(b) ねじれ二回回折</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(c) 逆二回回折</p> </div> </div>
<p>p. 209 図-3.15</p>	<p>反射補正量のチャートを訂正。図中の排水性舗装の点線が最大で 0.5 dB 小さく表示。実際は図の値よりも最大で 0.5 dB ほど効果が大きくなる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>

頁	訂正内容	
p. 211 文献 [27]	文献 [27] の題目を訂正。	
	誤	道路交通騒音予測における <u>遮音壁表面の吸音効果の算定式</u>
	正	道路交通騒音予測における <u>吸音型遮音壁の吸音効果の計算方法</u>
p. 216 式 (4.16)	式 (4.16) の第 2 項の ϕ 内の変数 ϕ を図 -4.6 と同じフォントに訂正。	
	誤	ϕ
	正	ϕ
p. 219 式 (4.23) と 式 (4.24) 下の説明文	式 (4.23) と式 (4.24) の説明文を修正。	
	誤	$\Delta L_{\text{dif. sb. } j}$ は B_j の中心に点音源を考えた場合の遮音壁に対する一回回折の回折補正量 [dB] である。
	正	<u>D_j 及び $\Delta L_{\text{dif. sb. } j}$ は B_j の中心に点音源を考えた場合の遮音壁に対する一回回折の回折係数及び回折補正量 [dB], ρ_j は B_j の反射率で $\rho_j = 1 - \alpha_j$ (α_j は吸音率) である。</u>
p. 220 文献 [58]	文献 [58] の頁数を訂正。	
	誤	<u>834</u> -338
	正	<u>334</u> -338
p. 235 文献 [98]	文献 [98] の頁数を訂正。	
	誤	<u>68</u> -104
	正	<u>98</u> -104
p. 247 文献 [140]	文献 [140] の題目を訂正。	
	誤	建物群背後の <u>道路交通騒音に関する市街地における実用計算法の検証</u>
	正	建物群背後における <u>道路交通騒音の実用計算法に関する精度検証—市街地における実測値と計算値の比較—</u>